

# ニュースレター

このニュースレターは、長崎県災害ボランティア連絡会  
にご登録いただいているみなさま（登録会員様）に  
お送りしています

## ■■■ 長崎県総合防災訓練 対馬市で開催 5月24日 ■■■

長崎県では、毎年総合防災訓練を実施していま  
す。その目的は、

- (1)防災関係機関・団体間の連携を強化すること
- (2)実践的な総合訓練を行って練度を高め、有事  
即応の体制を確立すること
- (3)防災意識の高揚、普及を図ること

を主としています。

今年度は、対馬市で、49の機関から約1,000人が  
参加し開催され、本会では、対馬市社会福祉協議会  
や長崎県社会福祉協議会と協力して『災害ボラン  
ティアセンター設置運営訓練』を実施。本会の運営  
委員である連合長崎の対馬メンバーの方々にも参  
加をいただきました。

今回の訓練は、対馬市を中心にこれまでに経験  
したことのないような大雨で「土砂災害警戒情報」  
が発表された中、さらに壱岐・対馬近海を震源とす  
るマグニチュード7.0の地震が発生し、対馬市峰町  
を中心とした地域で家屋の倒壊、地すべり、火災等  
が発生して負傷者が続出、電気・プロパンガス・通信  
施設等に甚大な被害が出た、という想定で実施さ  
れました。

8:45、シェイクアウトでスタート。シェイクアウトと  
は、地震の際に自分の身を守るための行動「まず低  
く、頭を守り、動かない」を身につける訓練です。



緊急地震速報の報知音に、参加者・見学者が一斉  
に身をかがめ頭を守る行動を体験しました。

.....

災害ボランティアセンター（以下、災害VC）設置  
運営訓練は、災害VC運営スタッフ役として対馬市

社協や地元防災推進員などから約25名、かけつけ  
たボランティア役として地域の方々や連合長崎対  
馬メンバーなど約60名が参加し行われました。

災害VC開所式、参加者全員に訓練の説明が行わ  
れたあとの、受付やオリエンテーションなど各班で  
の打ち合わせが行われている時間帯には、ボラン  
ティア役の方々に向けて日本防災士会長崎県支部  
旭支部長から災害VCの役割や災害時のボランティ  
アの心がまえなどを講義いただきました。



9:50のボランティア受付開始とともに、60名の  
ボランティアが「受付」に押し寄せます。机だけでは足  
りずクリップボードも使いながら受付票を記入した  
あとは、「オリエンテーション班」に移動し、スタッフか



受付には一気にボランティ  
アが押し寄せる

オリエンテーション班で、  
スタッフの説明を聞く



ら災害VCの活動の流れや、被災者の心に寄り添いボランティアをする心がまえを聞きます。

次に移動した先は、どんな活動があるのかを聞いて、自分が参加したい活動を決め、一緒に活動するメンバーのグループづくりをする「マッチング班・グループ핑班」。グループが決まるとリーダー・副リーダーを選び、「資材班」で資材を調達します。今回は、個人宅での土砂除きや室内片付け、粗大ごみの搬出・運搬の依頼に、どのような資材がどのくらい必要なのかも知ってもらうため、資材カードを使って調達してもらいました。



じゅうのう「てみ」など見慣れない聞き慣れない道具も。

その後、実際に訓練会場内で行われている炊き出し訓練や地震体験車・煙体験ハウスでの体験訓

練、初期消火や災害用伝言ダイヤルの体験に参加。そのほか、県トラック協会の救援物資輸送での物資積み出し・搬入を行い、その間運営スタッフは班ごとに気づき・反省点等を話し合いました。

体験後は、災害VCに戻り、「活動報告班」でリーダーが事故がなかったか、活動は今回で完了か継続か、活動で気づいた点等を報告しました。

終了後の閉所式では、「今後も訓練を定期的に続けていきたい」「もっと地域の方たちにも伝えたい」という声や、災害VCの流れを体験してみて初めて気づいたこと等いろんな意見が出されました。

.....

28年度の県総合防災訓練は、長崎市で開催予定です。本会でも、開催地及び近隣市町社協と協力して、災害に関する訓練等を行う予定です。内容については、「災害ボランティアネットワーク」ブログに掲載ご案内します。

【災害ボランティアネットワークブログ】

(長崎県社会福祉協議会ホームページ内)

<http://www.nagasaki-pref-shakyo.jp/volunteer/blog/shakyou/>

## ■■■■■■■■ 7.23 長崎大水害から 33 年 ■■■■■■■■

33年前の1982年7月23日、梅雨末期の大雨は、降り始めから翌24日までの総雨量572mmの降雨を記録しました。特に長与町では観測史上最高の1時間で187mmの雨量を記録し、土石流や山崩れなどが各地で多発しました。

死者・行方不明者299人、住家被害39,755戸、崖崩れ4,306箇所、地すべり151箇所という大災害となりました。

国の中央防災会議『災害教訓の継承に関する専門調査会』が2011年に発行した「災害史に学ぶ(風水害・火災編)」によると、避難の呼びかけを受けた人の避難率は27.3%にすぎなかったとのこと。

しかし、「茂木村(現長崎市太田尾町)山川川内では土石流が発生しましたが、全員避難し、人的被害はありませんでした。この地区では1860年5月28日に山崩れがあり、32人が圧死したという記録があります。集落全体でこうした過去の災害体験を引き継いでおり、当日も『昔からの言い伝えどおり』



『崩れる前兆として、山が揺れた。においがした。石垣の水が変わった』ことから、18時30分頃、皆が集合山の稜線に逃げたといわれています」ということです(「」内は同冊子より)。

1982年当時と比較すると気象警報や情報伝達手段は格段に進歩していますが、一人ひとりが防災・減災への意識をもち、日頃から備えることが大切なことにかわりはありません。

みなさんの地域・学校・会社に

講師料無料!

# 災害ボランティア講師を派遣します!

公益財団法人県民ボランティア振興基金では、自治会や町内会、学校、企業等が主催する災害ボランティアに関する学習会等に当基金に登録をしている災害ボランティア講師を派遣しています。

いま私たちにできることを講師と一緒に学んでみませんか?

例えば、次のような学習会等に講師を派遣しています。

- ✓ 災害への備え、災害時の対応・支援について知りたい
- ✓ 生徒ができる災害ボランティア活動を知りたい
- ✓ 東日本大震災の被災地でのボランティアの話を知りたい



この他にもご希望のテーマについて、講師がわかりやすくお話しします。

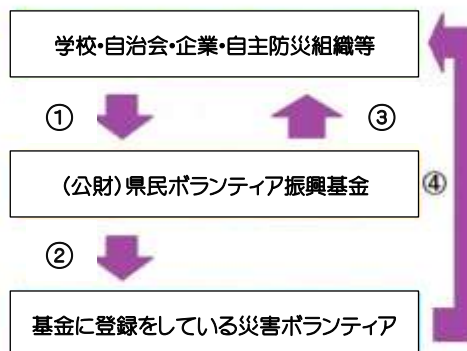
## 【派遣対象】

右の①～⑤のいずれかに該当する長崎県内に拠点を置く団体が主催する災害ボランティアに関する学習会等で、参加者が概ね10人以上の参加が見込まれること

- ①自治会及び町内会
- ②学校（幼稚園は除く）
- ③企業
- ④自主防災組織
- ⑤NPO 法人及びボランティア団体等の非営利団体

## 【派遣までの流れ】

- ①原則として派遣希望日の40日前までに「災害ボランティア講師派遣申込書」（HP からダウンロードできます）を当基金に提出してください。
- ②申込内容に適した講師を選定し、派遣を依頼します。
- ③学習会等の主催者に派遣決定をお知らせします。
- ④学習会等に講師がお伺いします。



※詳しくはホームページをご覧ください

## 【災害ボランティア講師の派遣に関する問い合わせ先】

公益財団法人 県民ボランティア振興基金

〒850-8570 長崎市江戸町2番13号（長崎県県民協働課内）

TEL：095-827-7616 FAX：095-895-2564 メールアドレス v-kikin@eos.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.nagasaki-volu-npo.net/>

地域の防災活動のかなめ！

今年も開催！

## 長崎県防災推進員（自主防災リーダー）養成講座

長崎県では、防災に関する実践的知識と技術を有し、地域における防災活動等の中心的役割を担う人材を育成する講座を平成 21 年度から開催しています。

今年度も大学や専門機関の講師を招き、長崎市、島原市の 2 会場で開催。

長崎市は 7 月に終了しましたが、島原市はまだ間に合います！**募集期間は 10 月 2 日(金)まで！**

### 【開催日】

11 月 14 日(土)、15 日(日)、23 日(月)の 3 日間

### 【会場】

島原復興アリーナ サブアリーナ  
(島原市平成町 2-1)

### 【受講対象】

自主防災組織のリーダー、防災ボランティア、民間企業の防災責任者など地域・職場の防災の担い手やそれを目指す方で、長崎県内在住又は在勤の方

### 【受講料】無料

ただし、防災士資格取得試験の受験を希望される方は、受験料等が必要です。

### 【申込方法】

長崎県ホームページ内「長崎県総合防災ポータル」から参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、郵送・FAX・E メールでお申し込みください。

### 【受講決定】

10 月中旬ごろまでに郵送で連絡します。

### 【申込・お問合せ先】

〒850-8570 長崎市江戸町 2-13  
長崎県危機管理課防災班  
FAX：095-821-9202  
E メール：s27100@pref.nagasaki.lg.jp

### 【研修プログラム】

<1 日目> …11 月 14 日(土)

- 防災気象情報の利用のしかた
- 気象災害（土砂災害）
- 災害とボランティア活動
- 避難所運営ワークショップ

<2 日目> …11 月 15 日(日)

- 地域を知り、防災を考える  
～最近の豪雨災害事例から学ぶこと～
- 被害想定とハザードマップ  
～災害図上演習（DIG）～
- 自然災害の被災者支援と我が国の法制度

<3 日目> …11 月 23 日(月)

- 火山のしくみと被害
- 地震のしくみと被害
- クロスロードを通して考える災害時要援護者支援
- 応急手当の基礎知識
- ◎防災士資格取得試験

防災士資格取得試験は NPO 法人日本防災士機構が実施し、受験料 3,000 円・認証料 5,000 円は希望者の自己負担となります。

県民ボランティア振興基金の「防災士育成事業」では、防災士の資格を取得された方を対象に**防災士認証登録申請料を助成！**

長崎県内に住所を有する方で、長崎県災害ボランティア連絡会の個人会員として登録し、会の活動に協力いただける方が対象です。

詳しくは、県民ボランティア振興基金のホームページをご覧ください。